

復帰50年！ 5. 15沖縄平和研修その2

○平和の礎

平和の礎(いしじ)には、沖縄戦などで犠牲になったすべての人を慰霊するため、一人ひとり名前が刻まれています。その数は約24万人に及んでいますが、戦没者名が新たに判明すると、毎年6月23日の慰霊の日に合わせて刻銘されます。その刻銘碑の数の多さに圧倒され、戦争の犠牲になった人の数を、身をもって実感しました。また、**魂魄(こんぱく)の塔**は終戦後、田畑など周囲に散乱していた遺骨を集め、慰霊した場所です。現在遺骨は戦没者中央納骨所へ移されています。



参加者による黙祷



魂魄の塔



平和の礎